

豊かな森林を未来にのこそう

もりのかぜ だ・よ・り

No.40 夏号

認定非営利活動法人 森林の風
会長 瀧口邦夫/令和3年7月発行



今年も「まちのきこり人育成講座」が実施されました。
新しく8名の木こり人が誕生しました。今後の活躍を期待します。

第40号 ラインナップ



- ・挨拶「島崎先生を偲んで」 _____ ②
- ・「2021年度 まちのきこり人育成講座」報告 _____ ②
- ・特別寄稿 「森林と机の上」 _____ ③
- ・令和3年度 事業計画 _____ ④ ⑤
- ・認定NPO法人森林の風からのお知らせ _____ ⑥
- ・森林の風現在の状況 _____ ⑥

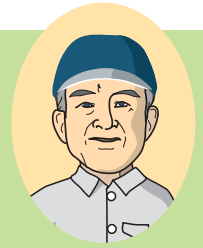
森林施業 認定NPO法人  もり
森林の風

連絡先/〒512-0933 三重県四日市市三滝台4丁目15-7 TEL059-321-7719 携帯電話090-9663-4088
菰野事業所/〒510-1251 三重県三重郡菰野町千草7045-82

<http://www.morinokaze.info> *詳しくは、ホームページまたは上記まで問合せください。

2021年 夏号ご挨拶 島崎先生を偲んで

認定NPO法人 森林の風 会長 瀧口 邦夫



ハーモニカ演奏中の島崎先生

この春に島崎先生が亡くなられた。「森林の風」の設立時から多くの指導を受けた。島崎森林塾の受講、三重県でのフォーラム開催、天龍村皆伐地の植林、島崎森林塾での合宿 実践林業をしながらの指導は、日本の森林を守り再生する意気込みが伝わってきた。

先生の背中を追いかけながら、森林保全と人材育成を進め17年目になった。

森林保全の環境はあまり

変化が無いように感じる。機械化やバイオマスの言葉に林業の基本をどこかに忘れたのではいだろうか?「NPO林業」のジャンルで再スタートする時かも知れない。

改めて、島崎先生のご冥福をお祈りします。



天竜峰の山林にて



講議中の島崎先生



島崎森林塾にて

《2021年度 まちのきこり人育成講座》報告



枝打ち実習

山造舎の川島さんによるチェーンソー実習「林内での立木の伐倒」



2021年度の「まちのきこり人育成講座」は、8人のきこり人を育成しました。例年通り4月から6月にかけて7回の講座を実施し、「森林整備」「人工林施業」「安全なチェーンソーの使い方」「チェーンソーによる伐倒技術の習得」「森林活動における安全管理」などの項目について充実した講座を開催することができました。

黒滝村森林組合の梶谷さんによるチェーンソー実習「受け口の作成」



最終日「安全講習」AEDと心臓圧迫実習

特別寄稿



玉切り練習中の筆者

昨年度から依頼を受けてインターンシップの学生を受け入れてきました。今年の春の参加者から引き続き「まちのきこり人育成講座」に参加し、その後の活動にも足を運んでくれる学生さんがいました。

その学生さんに、インターンシップと育成講座を体験したうえで感想をお願いしました。



育成講座の基礎編に参加

「森林と机の上」

三重大学生産資源学部
インターン生 大塚 理香子

今年の春休みに参加したインターンシップに始まり、気づけば約4カ月「森林の風」に関わっています。私は、大学で森林について学んでいます。ただ、講義中に林業作業の映像を見ることはあっても、実際に現場へ足を運ぶことはめったにありません。なので、インターンシップや「まちのきこり人育成講座」での実践は、私にとって机の上では学べない貴重な体験でした。先日、チェーンソーで木を伐る体験をしました。チェーンソーの整備方法、持ち方と姿勢、伐木の手順などについて一通りレクチャーを受け、山に入りました。チェーンソーは持つだけでも重かったで

す。加えて、山は足場が決してまっすぐではありません。そういった状況だけでも、林業に関わる人の大変さを実感しました。その上、正確な角度と方向でチェーンソーの刃を入れる必要があり、その技術は短期間では身につけることが難しいと思いました。「他の職業より厳しい環境下で、1つの技術を身につけて働いているのに、なぜ、食べていけないのか?」。この疑問は、大学の講義でも考えたことはありました。しかし、自分で実際に体感することで、より“自分ごと”として考えられる、いい機会になりました。今後も、森林と机の上を行ったり来たりしながら、森林と森林に関わる人について考えていこうと思います。



チェーンソーを手にインターン生整列



樹名板を作成しました



まなびの森にて記念植樹

令和3年3月28日(日)の第17回通常総会にて満場一致で可決されました。

令和3年度 事業計画

認定NPO法人森林の風

1. 活動方針

- ① 安全作業が何よりも優先される、「危険予知能力の向上」そして「実践する」姿勢をもって、森に優しい森林施業を進める。
- ② 持続可能な組織にするため、会員の確保・育成に努めると共に、活動拠点の整備に努める。

2. 事業計画 ◎印は寄付金を充当する事業

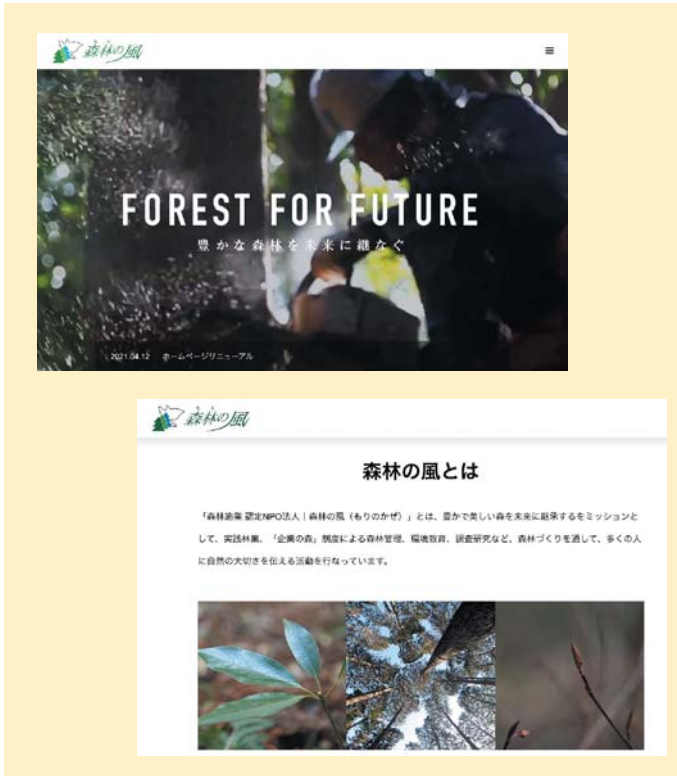
事業名	事業計画	上段:地区全体概要 下段:令和3年度事業計画	会 員 延活動人数	受 益 者 延参加者数
1. 人工林総合施業				
◎ 向井 F 1	<ul style="list-style-type: none"> ● 亀山市加太向井9.4ha(鈴鹿森林組合所有林)。平成17年?本田技研(株)の協力により、間伐、歩道作り、定点観測、ホンドの森林保全活動の場所として活用してきたが、平成28年度をもって本田技研(株)撤退した。 ● 29年度からは独自の管理林としたが、活用方法が見い出せていない。令和2年度は各種団体の森林環境教育の場として活用要求があれば再開する。 		0	0
エイチワンの森	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業の森(株エイチワン)。亀山市三寺町0.81ha(堤氏所有)。平成26年11月~30年10月。 ● 亀山市三寺町の私有地(地権者4人)2.48haの契約を結び(平成30年12月~令和5年11月)、林内の間伐・歩道作りを進めると共に、年2回(5月、11月)の森林保全活動イベントを継続して行う。 		70	150
三重県民の森	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成23年12月に①ヒノキの森及び生産の森の間伐②枯損木の処理③森林学校の開催について「三重県民の森管理に関する協定書」を締結。 ● 昨年度は無かったが枯損木の処理、雑木林の笹刈り・除伐依頼があれば対応する。 ● また、イベントの依頼があれば対応する。 		10	20
LIXILの森	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業の森(株リクシル)。伊賀市上阿波2.76(ヒノキ林2ha、植栽地0.76ha)。平成27年4月~令和2年3月。 ● 令和2年3月末で契約期間終了で(株)LIXILは活動の継続は行わず上阿波森林組合に返却。 		0	0
コメダの森	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業の森((株)コメダ)。菟野町千種6ha(スギ、ヒノキ林)。平成29年10月~令和4年3月。散策路整備、森林整備(主として間伐)、及び年1回の森林保全活動イベントを継続して行う。 ● 令和3年3月より、現施業地を含め28haに拡大予定。 ● 毎月第2火曜日を社員参加の林内整備活動に設定する。 		120	50
私有林 森林施行	● 活動余力が生ずれば後日調整する。		0	0
森林組合協同事業	● 森林組合からの要請に応じて対応する。		10	0
2. 里山再生				
こもれびの森	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業の森(NTN(株))、桑名市多度山4.5ha、第1期平成22年11月~27年3月でサクラ、モミジ1000本植樹。平成27年度から2期目、令和2年度から3期目(令和2年4月~7年3月面積4.24ha)。 ● 過年度植樹苗の保育、歩道補修、間伐、年1回(3月)の森林保全活動イベントを継続して行う。 		70	50
憩いの杜	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業の森(Tsテック(株))、桑名市茅ヶ崎2.9ha。第1期平成24年11月~29年3月。第2期29年4月?令和4年3月。 ● 年数回林内整備、歩道補修、年1回(11月)森林保全活動イベントを継続して行う。 		70	100
TOYOTIRES 緑のつながり・三重	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業の森(TOYO TIRE(株))、東員町城山5.27ha、平成26年10月~令和1年9月。2期目活動継続令和1年10月~6年9月。 ● 過年度整備済林内の再整備・城山小学校の隣地雑木林の整備及び年1回の森林保全活動イベントを継続して行う。 		70	110
ブレンディの森	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業の森(味の素AGF(株))。平成26年10月~令和1年9月。2期目活動継続令和1年10月~令和6年9月。亀山市関町沓掛2.56haの雑木林に加え平成30年1月に10.78haの人工林を追加契約した。 ● 令和3年の活動は、令和2年10月にエリア拡大(3.04ha)した自然の家裏側まで歩道・間伐整備を行う。また、森林保全活動は、全社が1回・鈴鹿が2回で1回当たり20人の少人数参加で開催する。 		120	70
ホンダの森	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業の森(本田技研(株))、亀山市関町坂下2.61ha(大滝(県行造林地)、平成29年4月~令和4年3月)。 ● 年7回の林内整備を継続して行う。森林保全活動は5人の少人数参加で2回開催する。 		80	14
アカガシの森再生	<ul style="list-style-type: none"> ● 菟野町からの受託。平成28年度にパッチディフェンスを4基設置し、除伐、アカガシその他広葉樹の植栽を行った。令和2年3月パッチディフェンス2基増設(アカガシ100本植樹)。 ● 令和3年度は、保守整備中心に活動を行う。 		30	0
JAバンクの森 ・菟野	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業の森(三重県信用農業協同組合連合会)。菟野町千種1ha(千種財産管理組合)。 ● 平成29年11月~令和4年10月。 ● パッチディフェンス2基内の(アカガシ、ミツマタ、シャクナゲ)下刈り等活動範囲の維持管理を行う。 		15	0

ふれあいの森	<ul style="list-style-type: none"> ●企業の森(ホンダロジスティクス(株))。菰野町千種2ha(千種財産管理組合)。平成30年3月～令和2年3月・2日目(令和2年4月～5年3月)継続。 ●令和3年は林内整備活動を継続し、活動に合わせて社員参加による整備を継続して行う。 	15	0
鈴鹿の森(仮称)	<ul style="list-style-type: none"> ●企業の森((株)鈴鹿)。菰野町千草4.15ha(千草財産管理組合)。令和3年度～8年度で契約予定。令和3年1月現在契約準備中である。 ●令和3年度は、植樹、歩道整備、除伐等林内整備と活動に合わせて社員参加による整備を行う。 	70	50
私有林整備	●西山町0.41ha草刈、奥田園0.24ha管理、南条園0.12ha草刈、菰野町植樹木の管理。	30	0
3. 竹林整備			
◎下大久保	<ul style="list-style-type: none"> ●鈴鹿市下大久保町自治会所有1.70haの竹林について自治会と契約。第1期平成23年8月～29年8月を終え第2期平成29年9月～令和5年8月の6年間を更新契約。 ●竹林の整備を年2～3回行う。タケノコの収穫および竹材の確保する。 	30	0
4. 森林施業基礎講習			
◎まちのきこり人育成講座	<ul style="list-style-type: none"> ●基幹事業の1つで平成18年から始め令和2年度までに15回開催、207名が受講している。(令和2年度は17名受講) ●令和3年度も4～6月に7日間の日程で開催する。併せてフィールド見学会等を検討する。 	90	100
◎レベルアップ研修(施業実技講習)	●会員等の知識・技術のレベルアップを目的に年5回程度開催する。	90	20
出張まちのきこり人育成講座	<ul style="list-style-type: none"> ●亀山市のまちのきこり人育成講座は中止。(参加者が少なく、来年又は再来年に計画する) ●亀山市の林業研究会に参加予定。 ●桑名市の桑竹会の依頼で平成29年からミニ講座を行っている。依頼があれば実施の予定。 	2	10
5. 森林活動体験研修会			
◎まなびの森	<ul style="list-style-type: none"> ●菰野町江野0.4ha、平成21年活動開始、三重銀行協働。 ●年数回三重銀行有志と共にフィールド管理すると共に、工作教室イベントを行う。又、道具類整備資機材・薪・苗木・キノコ類の保管、活動全般の準備作業の場として活用する。 	250	50
◎御在所岳GOGO植樹	<ul style="list-style-type: none"> ●鈴鹿国定公園制定50周年を記念して5500本の植樹を目指し、平成24年から始め平成30年末に2230本植樹された。 ●令和2年度はレストラン南側の斜面に60本の植樹(三重銀行主催)を行った。 ●年数回植栽地の維持管理を行う。三重銀行の植樹イベントを行う。 	40	40
◎学校等 森林活動体験	<ul style="list-style-type: none"> ●常磐西小学校2回(裏山整備及び授業)。 ●桑名市環境学習。 	60	300
◎ナラ枯れ研究	<ul style="list-style-type: none"> ●28年度からの独自研究。三重県民の森において、ナラ枯れ再生研究調査のため、2基のパッチデフェンス内で木炭による土壌中性化、及び追跡調査を行っている。 ●引き続き、PH値や植生の調査を継続。 	10	0
◎新たな技術の確立	<ul style="list-style-type: none"> ●平成29年度に「植樹木の成長を促すための土壌分析」キットを購入整備した。第1ステップとして菰野富士周辺におけるサクラ、アカガシ、シャクナゲ等に対する植樹地の適正評価から始め、第2ステップとしてホンダの森、コメダの森と調査範囲を拡大している。 ●平成29年度にドローンを購入整備した。各施業地の整備進捗状況を空撮して。今後の活動に生かしたい。 ●平成30年度に助成金で精油抽出器を購入、現在多くの樹木で抽出が出来る事を確認済みで今後、イベント等でデモを計画する。 	30	0
◎イベントの参加	<ul style="list-style-type: none"> ●鈴鹿川海山交流会2回(5月、7月)参加依頼があれば参加する。 ●令和2年に予定の県民植樹祭(10月24日)が中止になり、令和3年に開催になれば対応する。 	0	0
6. 間伐材の有効利用			
広葉樹の薪への加工・販売	●30m ³ 収納出来る薪小屋と22t薪割り機が配備されている。年15～20m ³ の薪を加工、販売する。	30	0
QRコード樹木版	●林業家、製材業とタイアップし、広葉樹の有効活用として平成27年から運用開始。運用拡大を図る。	20	0
◎苗木の育成	●令和2年2月現在シャクナゲ94本、ツツジ787本、モミジ110本、アカガシ36本、ミズナラ1003本、その他ツツジの挿し木。	30	0
7. 管理事業			
◎機関紙発行	<ul style="list-style-type: none"> ●平成23年9月に第1号を発行し、令和3年3月までに39号発行している。(令和2年度は3回発行) ●令和3年度は3回(5月、9月、1月)発行する。 	30	0
その他管理事業	●年2回総会、理事会、連絡会、チーム打合せ会の開催ほか、書類作成・整理する。また、活動拠点(まなびの森)の整備を進める。	50	0
計		1,675	1,670

*参考:会員の延べ活動参加人数の実績
(過去5年間)

H28	H29	H30	R01	R02
1,450人	1,652人	1,549人	1,439人	1,234人

認定NPO法人《森林の風》からのお知らせ



◆ホームページをリニューアルのご案内

この春、森林の風のホームページを全面リニューアルしました。

表示項目の視認性の向上に努め動画等を多用し視覚的に訴える構成を心掛けました。新たに、活動予定他を追加し、問い合わせフォームを追加しました。皆様のお便りをお待ちしております。

以前同様、「NPO森林の風」で検索していただければ検索上位に表示されると思います。URLは以前同様、「morinokaze.info」で表示されます。

是非、一度お寄りください。よろしくお願ひします。



◆イベント等のご案内

三重県の間伐材の活用をテーマに「樹木を楽しもう会」を開催します。

キャンプで活躍するスウェーデントーチや、樹木の葉を利用したアロマオイルづくり、そしてミツバチの巣箱づくりまで、是非ご家族でご参加ください

◆レベルアップ研修について

今年度、前期には菰野富士周辺にて植生調査を実施する予定にしています。

日程等決まり次第ホームページにてお知らせします。

森林の風～最新データ～

2021年 5月31日現在

◆取組事業総数		31
◆活動フィールド	人工林	6
	里山整備	10
	竹林	1
◆フィールド総数		約100ha

2021年度4月から5月の累計

◆活動日数	27日
◆会員延べ参加数	273人
◆延べ受益者数	200人

設立来累計

◆植樹数	約11,500本
------	----------

森を守り育てる活動にご協力ください

寄付を募集!

年会費 (賛助会員)	個人 1口 3,000円
	法人 1口10,000円より
特典	年2回発行の機関紙「もりのかぜだより」や各種案内を送付させていただきます

加入社名：特定非営利活動法人 森林の風
郵便振込：00830-4-159060
通信欄に、おところ・おなまえ
ご連絡先電話番号をご記入ください

